

令和8年度 シラバス 【言語文化】

1 1 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必履修	2	6	2	2
教科書			学習書・その他教材	
新編言語文化（東京書籍）			学習書：新編言語文化 学習課題ノート（東京書籍）	

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要なとなる勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導（スクーリング）を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題（レポート）を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容

- | | |
|--------------------------|-----------|
| （１）現代文「さくらさくらさくら」 | （第１回レポート） |
| （２）古文 古文に親しむ／『今鏡』「用光と白波」 | （第２回レポート） |
| （３）現代文 「柳あをめる【短歌】」 | （第３回レポート） |
| 【（１）～（３）前期試験範囲】 | |
| （４）漢文 訓読の基本／『孟子』「五十歩百歩」 | （第４回レポート） |
| （５）現代文「デューク」 | （第５回レポート） |
| （６）現代文 「雪の深さを【俳句】」 | （第６回レポート） |
| 【（４）～（６）後期試験範囲】 | |

学習方法

【レポート】

随筆や小説、古典など様々な文章が扱われています。教科書はもちろん、学習書を参考にして学習を進めてください。ただし学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともあります。また自分で考えて解答する問題もあります。一つ一つの設問について自分自身の力で取り組みましょう。全ての問題に解答せずに提出した場合、努力して学習したとはみなさず不合格になります。自分の力で答えを書くことが重要です。レポートの表紙の裏の注意事項もよく読みましょう。

【授業】

授業ではレポート問題の解説も行いますが、レポート以外の学習も取り入れます。主体的な学習活動も行いますので、授業に出席する前に教科書を読み準備してきてください。教科書・学習書を忘れずに持ってきてください。

【試 験】

試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。返却されたレポートを見直して試験に備えてください。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、文章の意味を文脈の中でとらえ、時間の経過や文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解している。	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫し、我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。また異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較し、論じている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
教科書をしっかりと読み、学習書を参考にしてレポートに取り組んでください。レポートの問題についてよく考え、無解答を残さないようにして提出しましょう。また、義務時数は多くはありませんが、日常生活に役立つ内容を学習するので是非出席してください。授業に出席してもわからない問題があるというときは遠慮せず質問してください。 なお、レポートは、皆さんが自学自習で身につけた力を確認するためのものです。レポートで取り上げられている教材以外の作品等もしっかりと読み、学習書を参考にして学習を進めてください。